

ノンテクニカルスキル教育の体験教室 1, 2, 3 の概要と受講者のお声抜粋

「ノンテクニカルスキル (NTS)」とは、テクニカルスキルを補って完全なものとし、安全かつ効率的な業務の遂行に寄与するスキルを言います。このスキルは、状況認識、コミュニケーション、リーダーシップ、言い出す勇氣、声かけ、振り返り、権威勾配の克服などにより構成され、ヒューマンファクターに係るエラーを防止し、安全を確保していくための現場（指示する方も）がもつべきスキルといえることができます。

近年、その教育効果を上げるため演習が多用されている。その主な演習をインストラクターが体験され、修得できることを目的でその演習の体験教室を開催します。

企業特設講座的に個別企業の要請で個別企業の指定時間に **Online** で開催する南川行動特性研究所が企画・実施する体験教室です。出張教室もできます。

教室単独でのお申込みになります。受講を希望する教室のみの受講です。

請求書は受講前後に **PDF** にて発送します。書面で必要な場合はお申し出ください。
銀行振り込みとなります。

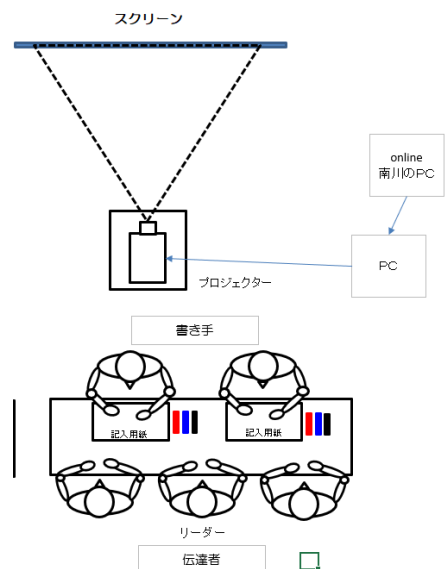
教室 1：動物当てゲーム

状況認識と発話を中心とした情報伝達を **PC** を使う仮想演習で

ねらいは緊急時の集団意思決定がどうすればより良くできるか演習を通じて体験する。

さまざまなストレスの下にある状況ではノンテクニカルスキルの状況認識、コミュニケーション、チームワーク及び意思決定が適切に働くことでその事態を切り抜けることができる。そのことをこの動物当てゲームという仮想演習を通じて学び、状況についての共通認識の重要性を再認識する。

右図のような配置の 5 人一組で実施します。3 名が伝え手で画面に 5 秒間毎に表示される 3 文字動物の名称の一部矩形を 2 名の書き手に伝え、名称を早く当てる演習です。ノンテクニカルスキルの状況認識やコミュニケーションの向上に資する演習です。ゲーム後にメンバーが実施する振り返りミーティングが重要で 1 年後の行動変容の姿を目指す。すでに 18 社が購入され、ノンテクニカルスキル教育で活用されている。



所要 70 分

- 1) 動物当てゲームのノンテクニカルスキル教育上の意義の話 10分
- 2) 動物当てゲームのやりかた説明 5分
- 3) 動物当てゲームの第一ゲーム 15分
- 4) 動物当てゲームの第二ゲーム 10分
- 5) 振り返りシートの記入と発表 30分
- 6) まとめ

演習参加者 10 名（一組の構成の場合は 5 名）までが有料でその会社のオブザーバー 1 名は無料です。

その会社が指定する時間に Zoom か Teams で配信します。企業特設教室となります。

事前準備：動物当てゲーム記入用紙、振り返りシートは開催 1 週間前にクラウドストレージ BOX に格納して送付されます。参加者はそれを印刷して動物当てゲームを実施する。

動物当てゲームの記入用紙に使用する太い黒・赤・青の蛍光ペンあるいはサインペン（マジックは太いかも）をそれぞれ 2 本ずつ合計 6 本受講者は用意しておく。一組あたり。

講師料：総額税込み 22274 円、源泉税 2274 円 請求額 20000 円

教室で使用したパワポの PDF は送付されませんのでご了承ください。

動物当てゲームを購入されると送付されます。

又、受講後、動物当てゲームを購入されると受講料はゼロになります。

購入費用は受講会社の前年の売上額に対応した価格となり、別途相談となります。

Recording はご遠慮くださいますようお願いいたします。

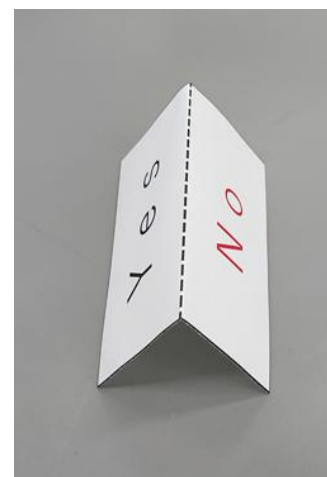
講習内容は予告なく変更される場合がありますが、ご承知おきください

教室 2：分かれ道演習

「分かれ道」演習は、カードを用いた演習形式による教育教材です。クロスロード演習とも言う。4 人から 6 人が一組となり、演習課題を自らの問題として考え、YES か NO か過去の自分の考えを示すとともに、参加者同士が意見交換を行いながら演習を進める。演習後発表してもらい、その後の講師による解説を通じて再発防止策の理解を深めてもらう。

所要 70 分

- 1) 分かれ道演習の意義の話 5分
- 2) 分かれ道演習のやりかた説明 5分
- 3) 分かれ道演習の第一課題と発表と講師解説 20分
- 4) 分かれ道演習の第二課題と発表と講師解説 20分
- 5) 分かれ道演習の第三課題と発表と講師解説 20分
- 6) まとめ



演習参加者 4 名 合計 10 名までが定員でその会社が指定する時間に

Zoom か Teams で配信します。企業特設教室となります。

事前準備：演習記入用紙と Yes-No カードは開催 1 週間前に電子メールで送付されます。参加者はそれを印刷して演習を実施する。

講師料：総額税込み 33411 円、源泉税 3411 円 請求額 30000 円

受講後、講義で使ったパワーポイントの PDF を提供します。

この教室終了後すぐに体験教室 7「分かれ道演習の演題の設定の仕方と成功への道」

40 分が無料で受講できます。

Recording はご遠慮くださいますようお願いいたします。

講習内容は予告なく変更される場合がありますが、ご承知おきください

教室 3：あなたならどうする演習

より意見交換密度の高い参画度が高くなる 3 人一組の演習をあなたならどうする演習と呼びます。分かれ道演習のように 4 人から 6 人で一斉に意見交換すると、意見が少ない方もいるし、長く話す方もおり、結果として意見交換時間が長くなった。本来の意見交換を通じての他者の視点の内化を目指すには時間が有効に使えないことがあった。そこで三人組に分ける改善をした。又、設問も更に特徴としては役割が変わって意見交換ができることである。（詳細は発表内容 3）で発表されます。又、設問も分かれ道演習のように YES か NO で答えるクローズクエスチョンでなく、オープンクエスチョン方式にした。その状況であなたならどうする？という尋ね方です。ノンテクニカルスキル教育においてはずっと座学教育よりこのような演習をいれるのが受講者の腹落ち度合は向上するし、気付きの促進が大きい。



所要 70 分

- 1) あなたならどうする演習の意義の話 5 分
- 2) あなたならどうする演習のやりかた説明 5 分
- 3) あなたならどうする演習の第一課題と発表と講師解説 20 分
- 4) あなたならどうする演習の第二課題と発表と講師解説 20 分
- 5) あなたならどうする演習の第三課題と発表と講師解説 20 分
- 6) まとめ

演習参加者 3 名 * 2 グループの 6 名 合計 10 名までが定員でその会社が指定する時間に Zoom か Teams で配信します。企業特設教室となります。

事前準備：演習記入用紙。用紙は開催 1 週間前に電子メールで送付されます。参加者はそれを印刷して演習を実施する。

講師料：総額税込み 33411 円、源泉税 3411 円 請求額 30000 円

受講後、講義で使ったパワーポイントの PDF を提供します。

この教室終了後すぐに体験教室 8「あなたならどうする演習の演題の設定の仕方と成功への道」40 分が無料で受講できます。

Recording はご遠慮くださいますようお願いいたします。

講習内容は予告なく変更される場合がありますが、ご承知おきください。

受講者の教室へのお声の振り返りシートからの抜粋

教室 1：動物当てゲーム 19 社購入 2026 年 4 月現在

動物当てゲームでは、相手に早く短く正確に情報を伝える大切さを学んだ。

2023 年 1 月 Y 氏

今後の工場での実際のトラブル対応等で実践していきたい。

動物あてゲームを通じて、相手の言うことを聞き取る、相手に伝えることの難しさを改めて感じました。答えをわかった後に確認すると、(自分たちの) 違っているところが多くありました。

2022 年 9 月 I 氏

動物当てゲームを実体験し、コミュニケーションの難しさ・改善すべき点がよく理解できました。受講者にとっても、ゲーム感覚で盛り上がりながら、学ぶことができる非常に有用なカリキュラムでした。

また、ノンテクニカルスキル研修のインストラクターとして、どのように受講者をリードするかの一助になり、大変有意義でした。

2022 年 9 月 O 氏

動物当てゲームは演習した後が非常に重要と思いました。気づきと行動変容、どう持っていかしつかりと準備して、事業所に展開したいと思いました。2022 年 9 月 F 氏管理者クラスは、いい結果が出た場合に何が良かったかを分析し、今後の新人教育やチーム醸成に役立てることが出来そう。

2022 年 9 月 T 氏

教育指導のノウハウまでご教授いただき、ありがたく感謝しております。

2022 年 9 月 M 氏

かなり盛り上がる方法で、他の参加者からの反応もよかったため満足した。

2022 年 6 月 Y 氏

受講者自身の気づきにつながる、素晴らしい方法と感じました。ぜひ弊社でも活用し、日本だけでなく海外へも広げたいと思います。

2022 年 6 月 K 氏

他の教室同様に、「振り返り」の部分が非常に重要だと体感できた。ゲーム感覚で楽しく活動したあと、自業務に置き換えて考えると、繋がる部分があると気づかされる。今回も良い体験ができた。ありがとうございました。

2022 年 6 月 E 氏

短い時間で正確に伝えなければならないシチュエーションを体験できる素晴らしいプログラムでした。

2024 年 2 月 A 氏

今まで体験したことのない内容で、新たな気づきを得られてよかったです。

2024 年 2 月 S 氏

教室 2：分かれ道演習

分かれ道演習では、Team でのディスカッションにより多様な意見を取り入れる事ができた。痛いことが判ると近道行動や省略行動をやらなくなるので、そこをしっかりと職場の皆さんに伝えていきたい。

2023 年 1 月 Y 氏

改めて人にはそれぞれの価値観があり色々な考え方があることに気づきました。どうすれば成功するのか？過去の経験もいい対応策である事を学びました。今後は自職場での事例を元に分かれ道演習を考えたいと思います。まず南川先生の講義が実体験を元にお話しになる為、製造現場の私には大変分かりやすく、面白く納得しながら、受けさせて頂きました。今後の研修も楽しみです。よろしくお願い致します。

2023 年 1 月 K 氏

教室 3：あなたならどうする演習

・その人の立場になり考えて指示を伝えることの重要さや、指示したことが正しく伝えられていたのか確認大事だと思いました。

2026 年 2 月 I 氏

・今まで会社で作業の指示を出す時や指示を受ける時などどうしても忙しくさせてしまったり、忙しくさせられたりした事がありました。そのせいでミスを起こしてしまう事が分

かったのでこれからは余裕を持って作業したいと思いました。 2026 年 2 月 M 氏

・職場の いろいろな、ちょっとした、ありがちな、場面を題材にして、考えて、判断して、メンバーが意見交流出来る演習と感じました。方向性のヒントも数多くいただきまして、ぜひ **自社に合わせた演習をつくって行きたい**と思います。 2026 年 2 月 T 氏

・自分が実際に管理している製造現場に当てはまる事例が多く、早速現場とディスカッションしたくなった点がよかった。

・演習を通じて客観的に自分の立ち位置が良く分かり、対策も立てやすいと感じた。

2023 年 8 月 I 氏

・ **3 人一組での演習は意見交換密度が高くなると思った。**

2022 年 10 月 T 氏

今回の教育は非常に面白く（まじめに考えて）良かったのですが、他のノンテク教育で感じた、何に気付いたのか？が弱いように思います。 2024 年 2 月 K 氏

グループ単位で、受講者に考えさせる機会とグループ討議で意見交換し、まとめる力を養うことおよびノンテクニカルスキルに関連する災害の防止に役立てることができる。

なお、社内教育を企画するための指導等に関する資料を提供して頂ければ、参考にすることができると感じた。

今回は Web 開催でしたが、対面式の講義を受講する方が教育効果が上がると感じた。

2024 年 2 月 S 氏